

リファレンス・サウンド。

は高精度ラダー型DAコンバーターをLR独立で使用。チャンネル間の位相差をなくしたのみならず、クロストーク、歪特性の改善にも貢献しています。さらに、音楽の表情に微妙な変化を与える絶対位相についても、リア・パネルに位相切替えスイッチを装備することによって対応しました。

シャーシー構造の採用に

より、まず機械的にデジタル部とアナログ部を分離。電気的

には電源トランスはもちろん電源コードに至るまで完全に独立した電源を使用。電源部からの

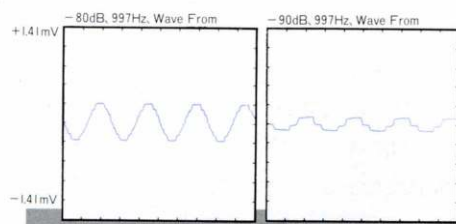
ノイズの回り込みを極限までおさえました。さらに、アナログ部でのノイズ発生源となり得るデグリッチ回路にはスパイク・ノイズの少ないバランス・チャージ型MOS FETを光伝送コントロール信号でドライブ。アース・パターン、配線にも細心の注意を払い、最後の最後までノイズの発生を防ぎました。

そして、アナログ部には電磁波の影響を受けない木製シャーシーを採用するなど、電磁的配慮も怠りません。以上のキメの細かい設計によって得られた成果は-80dB、-90dBの再生波形(1kHz)にはっきりと表われています。(上図参照)

信頼性の高いラダー型DAコンバーター

LR独立使用により、チャンネル間の位相差を追放。さらにデジタル信号レベルでの位相切替えによる絶対位相合わせも可能。

コンパクト・ディスクにはLRのステレオ信号が交互に記録されていますが、これを1個のDAコンバーターでDA変換すると高域でチャンネル間の位相ズレが生じる可能性があります。STAX CDPで



ルリニアリティーのすぐれたオールFETディスクリート・アンプと致しました。

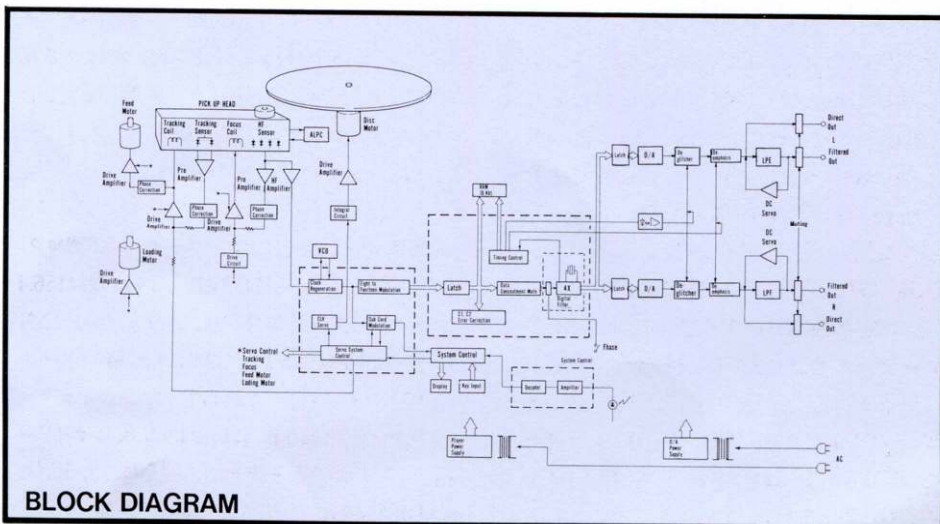
●その他の特長

■リードレス・タンタル抵抗、低タンデルタ・ポリプロピレンコンデンサー、OFC基板など高音質パーツのみ使用。

■スタックスのTIPTOE思想を発展させた、独特の機能美をもつ脚部の採用により、外部からの振動をシャットアウト。

■コンパクト・ディスクのトラックピッチわずか1.6ミクロン上のビットを確実に読み取る高性能3ビーム光学ピックアップを搭載。

■動作状態がひと目でわかるマルチファンクション・ディスプレイ、リピート機能(全曲、一曲、プログラム、A↔B)、プログラム機能、音出しサーチ、インデックス選曲、10キー付きフルモード・リモコンなど群を抜く操作性。



BLOCK DIAGRAM